

福祉分野と連携した太宰府における空家対策の施策構築事業 (太宰府市空家予防推進協議会)

課題と目的	市内には、空家となる可能性の高い住まいが多く存在しており、今後も空家が増える可能性が高い。このことから、特に高齢者やその家族と接点が高い、ケアマネジャーや民生委員等といった福祉関係者、自治会等の意向を把握し、連携して空家対策に取り組むことで、住まいを空家にしないための予防啓発につなげることを目的とする。
取組内容	① 相談員や専門家の研修・育成 ② 地域の専門家等との連携体制の構築 ③ 相談事務の実施
成果	・空家予防に向けて実施すべき事項を整理したカリキュラムの作成 ・座談会等の結果をまとめた対話集の作成 ・くらし相談窓口の相談対応マニュアルの作成

取組内容

① 相談員や専門家の研修・育成

- ケアマネジャーや民生委員に対して、住まいに関する座談会・勉強会を実施。
- 自治会を対象に相談会等を実施。
- 今後の暮らしや住まい(終活等)に関するセミナーとシンポジウムを開催

意向等を反映

② 地域の専門家等との連携体制の構築

- 空家予防や住まいの終活を考える上で実施すべきことをカリキュラムとして整理し、それを基にしたセミナー等のプログラムメニューを作成する。
- カリキュラムやプログラムメニューを作成する際に、各分野に応じた専門家(講師)を位置付け、連携体制を構築し、検討する。

③ 相談事務の実施

- 市役所内に空家総合相談窓口を設置し、協議会で運営を実施
- 次年度以降も継続して取り組みが展開できるしくみを検討

相談事項等を反映

主な成果物

① 空家予防に向けて実施すべき事項を整理したカリキュラム



② 座談会等の結果をまとめた対話集



③ くらし相談窓口の相談対応マニュアル



- 太宰府小校区福祉会の講演会
協議会が運営するセミナーに参加された方より、「ぜひうちの校区でやってほしいと言われ」実施した。計212人参加

